

## (臨床研究に関する公開情報)

静岡医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 「施設間・地域連携が必要な疾患の一般病棟における栄養管理  
～エビデンス構築のための全国調査～」

[研究責任者] この研究が行われる研究機関と研究責任者は次の通りです。  
研究機関：国立病院機構静岡医療センター  
研究責任者：栄養管理室 主任栄養士 丹羽 正人

### [研究の概要]

一般病棟で入院治療を行った後、そのまま自宅へ戻れない方は、自宅への復帰を目指して、転院先の病院で日常生活動作の改善や体力の向上に取り組んでいます。また、疾患によっては、自宅でリハビリテーションを継続している方も多くいらっしゃいます。体力や筋力の改善において、リハビリテーションと栄養は、いずれか片方が不十分であっても期待される状態に到達することができません。

しかし、回復期リハビリテーション病棟では入院患者の50%以上が低栄養という報告があります。また、自宅や転院先で、リハビリテーションを続ける必要がある患者の、一般病棟入院中の栄養管理は、各施設独自の基準で行っているのが現状です。

このような理由から、退院や転院後も、一定期間のリハビリテーションが必要な、「脳血管疾患」「心臓疾患」「大腿骨・腰椎骨折・変形性関節症」「呼吸器疾患」について、一般病棟入院中の栄養状態・栄養管理の実態を全国調査で明らかにし、具体的な栄養素などの目安を示すことを目的としています。

具体的な栄養量を明らかにすることで、早期から、これらの疾患の目標栄養量を設定することが可能となり、退院や転院後の、低栄養に陥るリスクを低減することも期待されます。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さま

下記の疾患で国立病院機構病院、国立高度専門医療研究センターに入院した65歳以上の方のうち、ご本人および代諾者の同意が得られる方を研究対象者として登録します。

#### 対象疾患名

- ・心筋梗塞、狭心症、心臓手術後、慢性心不全など
- ・脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷など
- ・慢性閉塞性肺疾患、肺線維症、間質性肺炎、急性肺炎など
- ・大腿骨近位部骨折、脊椎（腰椎）圧迫骨折、変形性関節症（股関節、膝）など

#### ●利用する検体、カルテ情報

- ①入院時に調査する項目

- ・年齢、性別、身長、疾患名
- ②入院時と退院時に調査する項目
  - ・体重、日常生活自立度
  - ・血液生化学査値（ヘモグロビン、総蛋白、アルブミン、総コレステロール  
総リンパ球数、ナトリウム、カリウム、CRP）など
  - ・栄養スクリーニング（6項目の簡単な質問です）
  - ・利き腕でない方の上腕測定（栄養士が測定します）
  - ・利き脚でない方のふくらはぎの測定（栄養士が測定します）  
※骨折している場合は、健側を測定します。
- ③入院期間を通して毎日調査する項目
  - ・リハビリテーションの内容、時間、体温
- ④入院翌日から4日間と、退院前3日間の調査項目
  - ・食事の内容と食べた量
- ⑤退院時に調査する項目
  - ・在院日数、退院（転院）先
  - ・栄養士の介入の有無

#### [個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

研究責任者：丹羽 正人  
〒411-0905 静岡県駿東郡清水町長沢 762-1  
国立病院機構静岡医療センター 栄養管理室  
電話：055-975-2000（代） Fax：055-975-2725（代）